

地下鉄長田駅前再整備に関する説明会開催結果のご報告

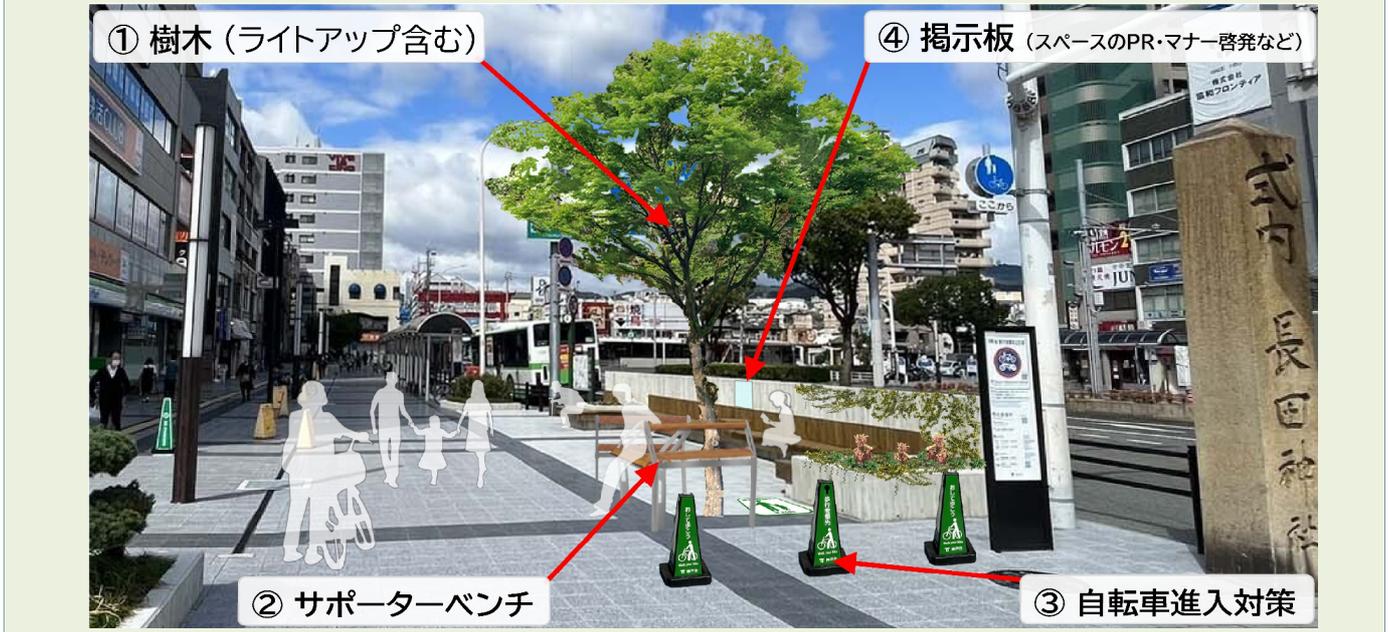
2019～2022年度にかけて実施したワークショップで地域の方々に議論いただいた内容と、昨年11月に実施した社会実験の結果を踏まえ、本整備のイメージをお示しする説明会を3月24日に開催しました。

駅前整備の目指すイメージ(ワークショップ結果より) 社会実験で取り組んだ内容

- | | | |
|-------------------------|---|----------------------|
| ・みどりやベンチのある「憩いの場」 | → | ・樹木やベンチの設置 |
| ・待合わせにも使われる「賑わいの場」 | → | ・イベントの開催 |
| ・自転車やゴミのない、スッキリした「安全な場」 | → | ・サインキューブの設置や、清掃活動の実施 |

社会実験の効果検証を基にした本整備のイメージ

- ① **樹木**：和の雰囲気を感じられ、鳥が好む実を付けないイロハモミジを植樹の第一候補とします。通行部分を確保し、ベンチに木陰ができる配置とし、スペースや落ち葉も考慮して植樹は1本で計画します。
- ② **サポーターベンチ**：信号待ちなど、短時間の利用を想定して設置。長時間滞在や不適切利用とならないよう、適切な滞留空間の利用を促します。
- ③ **自転車進入対策**：歩道内の自転車走行抑制、押し歩き啓発のため、サインキューブを継続して設置します。
- ④ **掲示板**：「適正利用」「マナー向上・啓発」など、スペースのPR・マナーの周知を行う掲示板を設置します。



参加者からの主なご意見 (Q参加者質問、A神戸市回答)

- Q. 樹木**：モミジはきれいだが、落ち葉の管理は誰が担うのか。
A. 落ち葉が酷い場合、西部建設事務所に連絡いただければ現場確認の上対応します。ゴミ等も含む日常的な清掃の対応方策については、地域の皆様と引き続き検討します。
- Q. イベントスペース・電源**：イベントスペースは広くとれないか。イベント時の電源を設置してほしい。
A. 社会実験の結果検証から、イベントの開催と通行の安全性とを両立できる広さとしています。電源については、イベントでは沿道の皆様の協力を得ましたが、今後設置に向けた具体の検討を進めます。
- Q. 放置自転車**：放置自転車は無くなっておらず、商店街に移動してきている。
A. 放置禁止区域の拡大を地域の皆様と協議しており、区域拡大による自転車の放置防止効果を期待します。

今後の検討について

その他、ゴミやタバコのポイ捨て、不適切な利用(たむろしている、飲酒している)などについてのご意見もいただいております。今後、オープンスペースの利用や管理方策について、地域の皆様と一緒に意見交換する場を設け、検討を重ねていきたいと考えています。引き続きご協力をお願いいたします。